



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台ホームページ

令和 8年 5月 15日

第 4 号

アサガオの芽が早く出ますように…

5月7日、1年生の生活科で、アサガオの種まきを行いました。

一人ひとりに土の入った袋を手渡し、封をちぎって、まずは半分ほどを青いプラスチックの鉢へ。袋の上部を上手にちぎれて「やぶれた、自分でやぶれたあ！」と嬉しそうな声も聞こえてきました。続いて、白い粒状の肥料を入れ、手を使って土と混ぜます。



土を入れ、肥料を加えているところ

片手だけでそっと混ぜる子、土に触ることをためらう子、両手で「じゃぶじゃぶ」と楽しそうにかき混ぜる子。混ぜ方一つにも、子どもたちそれぞれの姿がありました。混ぜ終えた後は、残りの土を鉢いっぱい足していきますが、土の大袋なので、量を加減しながら底を少しずつつ持ち上げていくのが思いのほか難しく苦戦したり、「どうしたら全部入るかな」と考え込んだりする子の姿も見られました。



5/12朝、アサガオの芽が出ていました！

こうした一つひとつの場面は、1年生にとって「自分でやってみる」「失敗しながら、できるようになる」ための大切な学びの時間なのだと改めて感じます。すぐに手が動く子もいれば、考えながら一歩ずつ進んでいく子もいます。そのどれもが、その子なりの学びの姿だといえます。

少し手を貸したり、声をかけたりしながら、子どもが自分の力でできる瞬間を見守ることも、私たちの大切な指導の一つです。これからも、子どもたちの「やってみたい」「できた」という心の育ちを大切にしていきたいです。

突然の雨に打たれて…

5月8日の朝、子どもたちの登校時間に通り雨が降り始めました。突然の雨で、次第に雨足も強まってきました。傘を持っていない子は校舎に向かって駆け足で進みますが、中には頓着せずに悠然と歩く子もいます。友達同士で一つの傘に入り、仲良く登校する姿も見られました。

そんな中、4年生の子が1年生の子を自分の傘に入れて登校している姿がありました。歩幅は1年生に合わせ、傘は自分よりも、むしろ相手の方に大きく傾けています。昇降口では、傘をうまくためない下の学年の児童のために、手を貸したり、代わりに水滴を落として紐でくくってあげたりする姿も見られました。

子どもたちにとっては、ごく自然で当たり前の行動なのかもしれません。しかし、その一つ一つに、やさしさや思いやりがあふれており、見ているこちらの心があたたかくなる光景でした。

またこの日、雨に降られた子どもの姿を見かねて、地域の方が傘を貸して下さったそうです。子どもたちを日頃から見守ってくださる地域の方のやさしいぬくもりを感じました。心より感謝申し上げます。



むしあつについて どんな感じ？ 大切にしたいことばの感覚

4年生の理科、「くもりの日と雨の日もあたたかくなるのか」について話し合っている場面に出くわしました。子どもたちの予想は、2つに分かれたようでした。

「しめっているから冷たく、すずしいのではないか」という予想と、「少しあたたかくなって、むしあつく感じるのではないか」という予想です。

そのときに話題になったのが、「むしあつ」とはどんな感じなのかということでした。ある子は、「虫が



給食片付け 給食委員が受け取ってコンテナへ

ひーひー言ってるくらい暑い感じ」と表現しました。言葉としては正確ではありませんが、思わず微笑んでしまう、子どもらしいイメージです。また別の子は、「むしパンは湯気でむしたパンだから、水気がある感じ」と身近な経験をもとに説明してくれました。それを受けて、「サウナみたいな感じ」という声も聞かれました。

子どもたちの生活感から生まれるこうした説明には、辞書で調べて理解するのとは違う、わかりやすさや豊かさがありません。

ご来校および登下校の送迎についてのお願い

保護者の皆様による自動車でのご来校はご遠慮いただいております。児童の登下校に際しても同様です。また、校門付近や学校周辺の道路への駐停車は、近隣にお住まいの方のご迷惑となるだけでなく、登下校中の児童の安全確保の面からも大きな心配があります。どうかお控えくださいますようお願いいたします。なお、病気やけがなど、やむを得ない事情により送迎が必要な場合には、事前に学校までご相談ください。

あわせて、学校へ来校される際には、必ず保護者証の携帯をお願いいたします。お子さんの忘れ物等を届けに来られた場合も、まず職員室へお声がけください。

特にお忙しい朝の時間帯には、ご面倒をおかけいたしますが、児童の安全確保と円滑な学校運営のため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。